

東北学院大学 統合認証アカウント：統合認証アカウント利用者ガイド

統合認証アカウント利用者ガイド (Lite 版)

～初期設定抜粋版～

第 2.00 版/2025. 4. 1

東北学院大学 情報システム部 情報システム課

1. 本書について.....	- 1 -
2. 設定概要：統合認証システムにおける必須設定項目.....	- 1 -
3. 設定ガイド①：統合認証アカウントのパスワード変更.....	- 2 -
3.1. パスワード変更手順①（初期パスワード変更、既存パスワードがわかる方）.....	- 2 -
4. 設定ガイド②：多要素認証（アプリ認証）を設定する.....	- 5 -
4.1. Google Authenticator または Microsoft Authenticator を利用する場合.....	- 5 -
5. 設定ガイド③：多要素認証（メール認証）を設定する.....	- 11 -
6. 設定ガイド④：パスワード再発行用メールアドレスの登録.....	- 13 -

1. 本書について

本書は、統合認証アカウントの初期設定に特化した資料となります。詳細な利用方法などについては、通常版の利用者ガイドをご確認ください。

2. 設定概要：統合認証システムにおける必須設定項目

初期状態の統合認証アカウントでは、学内 IT サービスを利用できないため、アカウントを新規で発行された方(学生/教職員)はそれぞれ、次の設定を必ず行ってください。

(学生)

①	パスワード設定	アカウント利用準備システムマニュアル参照
②	多要素認証のアプリ認証の登録	4 章参照
③	多要素認証のメール認証の登録	アカウント利用準備システムマニュアル参照
④	パスワード再発行用メールアドレスの登録	アカウント利用準備システムマニュアル参照
任意	多要素認証の FIDO2 認証の登録	手順の用意はありません。

アカウント利用準備システムにアクセスし、説明に従って設定してください。

その際、②以外の設定を完了することができます。

(教職員)

①	初期パスワード変更	3 章参照
②	多要素認証のアプリ認証の登録	4 章参照
③	多要素認証のメール認証の登録	5 章参照
④	パスワード再発行用メールアドレスの登録	6 章参照
任意	多要素認証の FIDO2 認証の登録	手順の用意はありません。

※初期パスワードの有効期限はアカウント発行から 15 日以内となります。

⇒原則、入学日や奉職日、採用日からの換算となりますが、年度始めは大量のアカウント発行が必要であるため予約登録をしている場合があります。この場合、上記期限より前に期限が切れるため、期限に関わらず入学・奉職後すぐに設定を行ってください。

3. 設定ガイド①：統合認証アカウントのパスワード変更

3.1. パスワード変更手順①（初期パスワード変更、既存パスワードがわかる方）

- 1) 統合認証システム(extic)のパスワード変更サイト
(<https://tg.ex-tic.com/idm/user/password/>) にアクセスすると、次のようなログイン画面が表示されます。



学校法人 東北学院

★統合認証システム（この認証画面:extic:エクステイク）のサービス詳細および設定手順については、画面下部のリンクの[東北学院大学ITナビ]をご確認ください。

★ログインを5回連続で失敗するとアカウントが一時的にロックされます（一時ロック：30分間（解除不可））。

ユーザー名

→ 次へ

パスワードを忘れましたか
メンテナンス情報はこちら
東北学院大学ITナビ

留意事項を記載。
都度更新されます。

利用者ガイド等の利用の詳細はこちら

- 2) [ユーザー名]にログイン
したい統合認証アカウン
トの ID を入力し、[次へ]
をクリックします。

※WEB ブラウザ (Google Chro
me、Safari、Microsoft Edge
等) の言語設定により英語表
記になる場合があります。

※統合認証アカウントの ID を
半角英数字小文字で入力して
ください。

- 3) [パスワード]にログイン
したい統合認証アカウン
トのパスワードを入力
し、[次へ]をクリックし
ます。

※ログインを 5 回連続で失敗
するとアカウントが一時的に
ロックされ、ログインできな
くなります (一時ロック：30
分間 (解除不可))。

※WEB ブラウザが ID とパスワ
ードを記憶するか確認がある
場合は任意で設定してくださ
い。ただし、初期設定の場合、
初期パスワードはすぐに変更
するので、この場合は記憶
させないことを推奨しま
す。

4) [現在のパスワード]にログインで利用したパスワードを入力します。

5) 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」にパスワード設定のルールを満たす新しいパスワードを入力します。

※入力ミスで再ログインがで
きるケースが多いです。手
入力ではなく、Word やエディ
タなどで入力した文字列が目
に見える状態のものをコピー
し、貼り付ける方法での設定
することを推奨します。特に
記号はスマートフォンで入力
しやすいものを選択すること
も踏まえ設定してください。

6) 「保存」をクリックしま
す。

7) パスワード処理の結果の
画面が表示されますので
[結果]が処理中の表示か
ら変わるまで、何度か[更
新]をクリックします。

■初期設定時の画面（状態によりタブに表示される項目が変わります。）

アカウント

パスワード変更 ログ

パスワードを変更してください。

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワードの確認

保存

初期パスワード or 既存パスワード

パスワード設定のルールを確認

変更したいパスワードを入力します。

- パスワード文字数は8文字以上32文字以下です。
- 半角英大文字、半角英小文字、半角数字、半角記号を組み合わせたパスワードを設定してください。また、次の半角記号が利用できます。 ! # % & () * + . , / = ? @ ^ _ ' { } ~
- パスワードに統合認証アカウント、英字（氏名、姓、ミドル、名）を含めることはできません。
- 過去5回前までのパスワードは再設定することはできません。
- パスワード有効期限は、365日になります。この日数を経過した場合ログインができなくなります。
- パスワード有効期限が近付くと、ログイン後の画面上部に通知されます。
- 不正アクセスを防止するため、ログインを5回連続で失敗するとアカウントが一時的にロックされます。
- アカウントが一時的にロックされた場合、30分以上経過後に再度ログインしてください。

■初期設定パスワード変更後の統合認証システムのタブ

アカウント

多要素認証 (FIDO2) 多要素認証 (OTP) ログ

■初期設定パスワード、多要素認証設定後の統合認証システムのタブ

アカウント

ポータル プロフィール パスワード変更 多要素認証 (FIDO2) 多要素認証 (OTP) ログ

アカウント

パスワード変更 ログ

パスワードの更新を受け付けました。処理結果は更新ボタンをクリックして確認してください。

直近1週間のログを表示します。

日時	結果	操作
2024/02/26 14:23:45	処理中	パスワード変更

更新

© 2016 EXGEN NETWORKS Co., Ltd.

8) [結果]が成功となれば、パスワード変更は完了です。

※連携システムに変更したパスワードが同期されるのに、数分から数時間程度かかる場合があります。まずは、変更したパスワードでログインを試みていただき、仮にログインができない場合は、数分お待ち頂き、それでもログインができない場合は、パスワード変更前のパスワードでログインを行ってください。



4. 設定ガイド②：多要素認証（アプリ認証）を設定する

※本書では、Google Authenticator と Microsoft Authenticator の手順のみ記載します。Google Chrome 拡張機能の利用方法は通常版をご確認ください。

4.1. Google Authenticator または Microsoft Authenticator を利用する場合

本節でのアプリ認証の設定は、以下の流れで行います。

1. アプリケーションの初期設定
2. 統合認証システム(extic)での設定画面の表示
3. アプリケーションでの統合認証アカウントの登録
4. 統合認証システム(extic)での設定

以降の手順は設定する前に次の点をご確認ください。

- ・アプリ認証をインストールする端末は常に携帯するスマートフォンやタブレットを推奨します。
- ・アプリ認証の設定は、QRコードを利用する方法と、セットアップキーを利用する方法があります。
 - ※ QRコードを利用する場合、QRコードの撮影が必要であるため端末が2台必要となります。
 - ※ セットアップキーを利用する場合、端末1台で設定可能です。
- ・アプリケーションはアップデート等で画面イメージがすぐに更新されます。また、すでに個人で学外のサービス利用でご利用いただいている場合や端末のダークモード、画面設定など、利用者環境に応じて設定の流れや画面イメージが異なることがありますので、本書掲載事項は参考としてご認識いただき、

本書にとらわれずアプリの指示に従って設定を行ってください。

(1) アプリケーションの初期設定

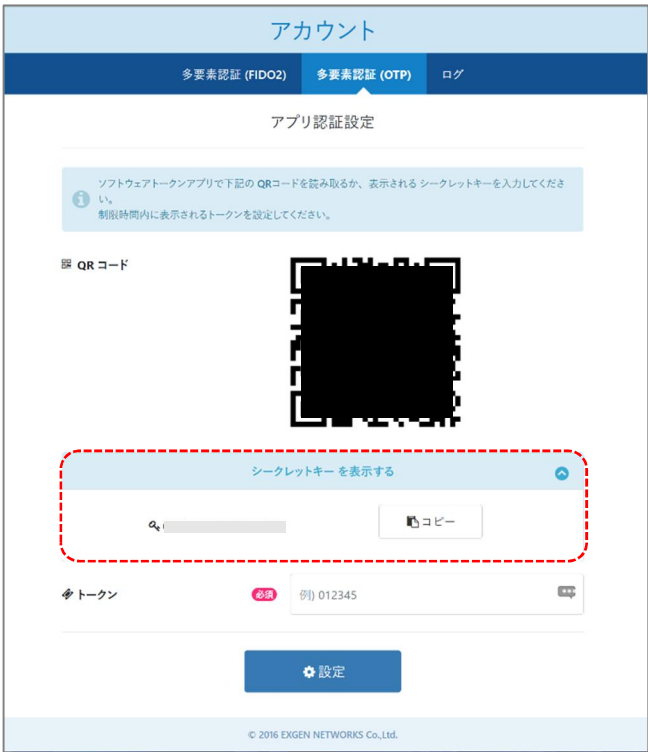
	Google Authenticator	Microsoft Authenticator
1) スマートフォンまたはタブレットにアプリケーションをインストールします。	iOS (AppStore)  Android (GooglePlay) 	iOS (AppStore)  Android (GooglePlay) 
2) アプリケーションを起動し、画面の内容に沿って操作を進めます。		
3) 使用するアカウント形態によって、操作方法が異なります。 ➤ 個人所有または大学提供の Gmail アカウントで設定する場合 画面の流れに従ってサインインを行います。 ➤ アカウント無しで設定する場合 [アカウントなしで使用／スキップ]をクリックします。		

4) 右図のような画面が表示されましたら、次の設定手順へお進みください。		
---	--	---

(2) 統合認証システム(extic)での設定画面の表示

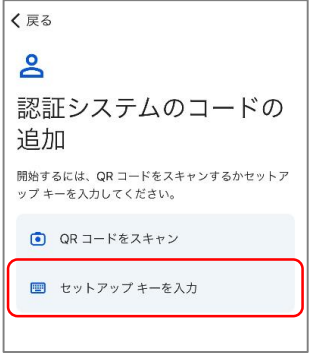
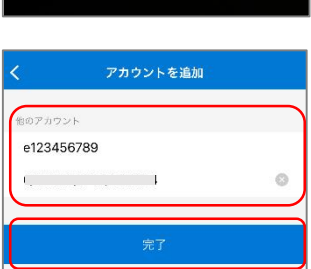
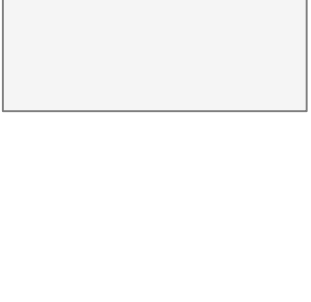
以降の手順は、「3. 設定ガイド①：統合認証アカウントのパスワード変更」の続きから行ってください。

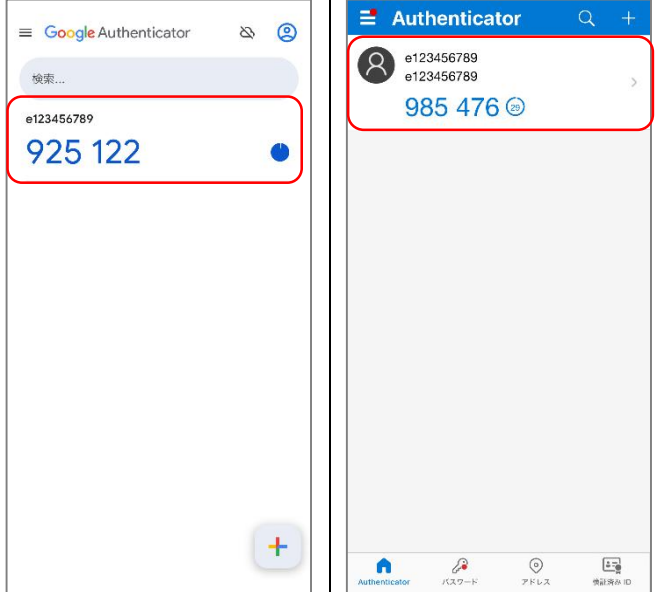
1) 画面上部の[多要素認証 (OTP)]をクリックしてください。	
2) [アプリ認証]の[設定]をクリックします。	

3) QR コードが表示されるので、次の設定手順に進んでください。 ※シークレットキーは、<u>アプリケーションを操作するスマートフォンまたはタブレット以外の機器をお持ちでない場合に必要となります</u>。必要に応じて、「シークレットキーを表示する」よりご確認ください。	
---	--

(3) アプリケーションでの統合認証アカウントの登録

	Google Authenticator	Microsoft Authenticator
1) アプリケーションのホーム画面を開き、[コード／アカウントを追加]をクリックします。		
2) 条件分岐 ・端末 2 台で作業している場合は、<u>QR コードを用いた設定へ</u> ・端末 1 台で作業している場合は、<u>セットアップキーを用いた設定へ</u>		

■ <u>QR コードを用いた設定</u> ※別の端末で QR コードを表示できる場合のみ、利用できます。 ➤ Google Authenticator [QR コードをスキャン]をクリックします。 ➤ Microsoft Authenticator [その他]をクリックします。 カメラが起動しますので、別の端末で表示している extic 設定画面の QR コードを読み取ります。		
■ <u>セットアップキーを用いた設定</u> ➤ Google Authenticator [セットアップキーを入力]をクリックします。 ➤ Microsoft Authenticator [その他]をタップし、カメラ画面で[またはコードを手動で入力]をクリックします。 アカウント情報の入力画面に遷移しますので、次の情報を入力し、[追加/完了]をクリックします。 ・アカウント名： 統合認証アカウントのユーザーID ・鍵／秘密鍵： extic の設定画面で表示された シークレットキー ・鍵の種類 (Google Authenticator のみ)： 時間ベース	 	  

3) 6桁のワンタイムパスワードが表示されたら、次の設定手順へお進みください。	
--	--

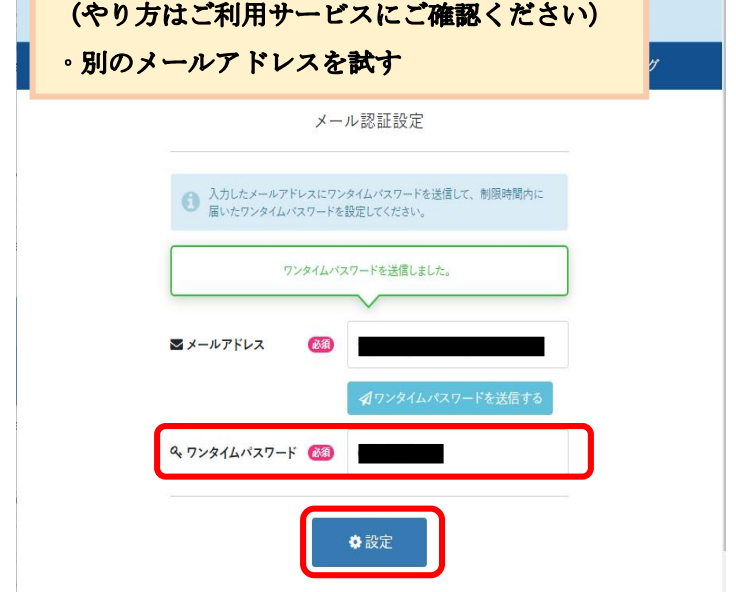
(4) 統合認証システム(extic)での設定

1) extic の設定画面に戻り、[トークン]にアプリケーションで表示されたワンタイムパスワードを入力し、[設定]をクリックします。 ※ワンタイムパスワードは 20-30 秒程度で自動更新されるので、入力する時間が少ない場合は一度更新されるのを待ってから入力することを推奨します。	
2) [アプリ認証]が設定済に変われば完了です。	

5. 設定ガイド③：多要素認証（メール認証）を設定する

以降の手順は、「4. 設定ガイド②：多要素認証（アプリ認証）を設定する」の続きから行ってください。

1) [メール認証]の[設定]をクリックします。	■多要素認証設定状態により画面の状態が異なります 
2) [メールアドレス]に個人所有のメールアドレスを入力します。 ※パスワード再発行用メールアドレスと同じアドレスの登録を推奨します。	
メールアドレスに「tohoku-gakuin.ac.jp」と「tohoku-gakuin.jp」が含まれているものは登録できません。また、この設定は統合認証システム内でユニークである必要があります。複数のアカウントをご利用の場合は同一のアドレスは設定できません。	
3) [メールアドレス]の入力後、[ワンタイムパスワードを送信する]をクリックします。 ※このメッセージは送信を試みたという意味で、メールアドレスが存在せず、実際には送信が行えない場合も同様のメッセージがでます。	

4) [メールアドレス]に設定したメールアドレスでワンタイムパスワードのメールを受信できたことを確認します。 ※ワンタイムパスワードの有効期間は約 10 分です。	
5) 4) で届いたワンタイムパスワードを [ワンタイムパスワード]に入力し、[設定]をクリックします。	
6) [メール認証]が設定済に変われば完了です。 ※[設定済]の横の[i]にカーソルを合わせると現在設定のメールアドレスを確認できます。	

6. 設定ガイド④：パスワード再発行用メールアドレスの登録

以降の手順は、「5. 設定ガイド③：多要素認証（メール認証）を設定する」の続きから行ってください。

- 1) 画面上部の[プロフィール]をクリックしてください。

- 2) [パスワード再発行用メールアドレス]に個人所有のメールアドレスを入力します。

※多要素認証（メール認証）と同じアドレスの登録を推奨します。

メールアドレスに「tohoku-gakuin.ac.jp」と「tohoku-gakuin.jp」が含まれているものは登録できません。また、この設定は統合認証システム内でユニークである必要があります。複数のアカウントをご利用の場合は同一のアドレスは設定できません。

- 3) [パスワード再発行用メールアドレス]の入力後、[テストメールを送信する]をクリックします。

※登録だけで満足し、メール受信確認を怠り、登録ミス等を検知できないケースが多く発生しています。必ずテストメールを受信できることを確認してください。

- 4) [パスワード再発行用メールアドレス]に設定したメールアドレスに「テストメールを送信した」というメッセージが表示されることを確認します。

※このメッセージは送信を試みたという意味で、メールアドレスが存在せず、実際には送信が行えない場合も同様のメッセージがでます。

- 5) [パスワード再発行用メールアドレス]に設定したメールアドレスでテストメールが受信できたことを確認します。

メールが届かない場合

- ・設定メールアドレスに入力ミスがないか確認
- ・noreply@ex-tic.com の受信設定を行う
(やり方はご利用サービスにご確認ください)
- ・別のメールアドレスを試す

- 6) テストメールの受信が確認できてから、再度設定画面にもどり、[保存]をクリックします。

右のようなメッセージがでた場合は、5) に戻り、別のメールアドレスを設定ください。

入力されたパスワード再発行用メールアドレスはすでに登録されています。別のメールアドレスを入力してください。

入力されたパスワード再発行用メールアドレスは利用できません。別ドメインのメールアドレスを入力してください。

- 7) プロフィール更新の結果の画面が表示されますので[結果]が処理中の表示から変わるまで、何度か[更新]をクリックします。
- 8) プロフィール更新の[結果]が成功となれば、パスワード再発行用メールアドレスの登録は完了です。



以上で統合認証アカウントの初期セットアップは完了です。

設定変更や以降の利用方法の詳細は、通常版マニュアルをご確認ください。